

# 横浜災害ボランティアネットワーク会議 平成 27 年度総会 議事録

日 時：平成 27 年 6 月 19 日(金) 19：15～20：30

場 所：横浜市健康福祉総合センター8階 8A8B 会議室

参加者：出席 34 組・委任状 34 組

総合司会：金沢区災害ボランティアネットワーク 外山氏

1) 開会

2) 代表挨拶（河西代表）

3) 横浜市民局挨拶（佐藤課長）

4) 総会設立宣言

総会員数 94 組中、出席 34 組、委任状 34 組、総数 68 組であり、過半数を満たしているため総会が有効に成立することを宣言。

5) 議長選出

西区社会協議会 事務局次長 三木氏が選出された。

6) 審議

【第 1 号議案 平成 26 年度事業報告】

【第 2 号議案 平成 26 年度一般事業会計及び寄付金事業会計収支決算報告】

・事務局より説明

【監事監査報告】

・旭区社会福祉協議会 中嶋監事より報告

《質疑・意見等》

なし

○第 1 号、第 2 号議案について承認された。

【第 3 号議案 第四次 3 カ年基本方針の進捗報告および平成 27 年度以降の基本方針について】

・事務局より説明

《質疑・意見等》

なし

○第 3 号議案について承認された。

【第 4 号議案 平成 27 年度事業計画】

【第 5 号議案 平成 27 年度一般事業会計及び寄付金事業会計収支予算】

・事務局より説明

《質疑・意見等》

意見：事業計画中の「子どもを対象とした、災害ボランティアに関する取組み」について、小学生だけではなく中学生・高校生も対象としてはどうか。

回答：計画時に検討していた。今年度、まずは小学校高学年から取組み、次年度以降に段々対象を広げていきたい。また、神奈川災害ボランティアネットワークでは、昨年から高校生を対象とした活動を行っている。横浜でも今後の取組みとして考えていきたい。

意見：寄付金事業会計について、災害時の寄付やボランティア派遣費用として使用するだけでなく、有事の際の自助努力のために積み立ててはどうか。

回答：会計の名称が寄付金事業会計となっているため、今後名称等を考えていく必要があるが、横浜が被災した際の積立金としていけると良い。

質問：他ブロックの動きについて知りたい。

回答：各ブロックの昨年度の動きについて、27 年 3 月に行った全体会の際の各ブロックからの報告をもとに説明。

A ブロック→DIG を行う。また、ブロック内での日頃からの連携について協議する。

B ブロック→各区のマニュアルを持ち寄って話し合う。

C ブロック→各区ごとに特徴があるため、それぞれの区のマニュアルを尊重する。各区の事業報告について話し合う。

D ブロック→各区の事業内容や活動内容、協定の締結状況などについての情報交換を行う。

○第 4 号、第 5 号議案について承認された。

【その他】

○かながわ・よこはま防災ギャザリング実行委員会 2016 について

・実行委員会代表の森氏より説明。

・よこはま防災ギャザリング実行委員会 2016 へのご協力をお願いしたい。

《質疑・意見等》  
なし。

7) 閉会